

夏の「るんるんフォレスト」 学校林活動を支援（標茶町立中茶安別小中学校）

8月22日（木）、標茶町立中茶安別小中学校の学校林で、全校児童生徒26名が参加し「夏の学校林活動」が行われ、当ふれあいセンターからは、講師として職員2名が参加しました。

今回の学校林活動の実施に当たっては、年度当初の学校との打合せの際、学校林内にある池を題材とする環境教育を行ってほしいとの強い要望があり、森林の有する水源かん機能等の学習と併せて、外部講師を招き、池の水質調査を通して「水質とは何か？」や「水の大切さ」を学習しました。

子どもたちは各班に分かれて、それぞれ3箇所ので地点で採水した水を、実際に行われている水質調査を体験しながら、水の中には目には見えないたくさんの要素があることや、水は循環する途中で水質が刻々と変化すること等を知りました。また、水質調査前は、見た目から、学校林の池は汚れていると思っていた子供たちでしたが、実は想像以上にきれいであることがわかり、驚きの声を上げていました。

当該池は、タンチョウが生息し、保護林が設定されている別寒辺牛湿原へ注ぎ込んでおり、最終的にはカキの養殖が盛んな厚岸湖に達しています。

森林の働きの中の「森林生態系での水循環」について、今回の体験を通して、より深く理解してもらえる1日となったことと思います。



▽ 網倉所長の解説の様子



▽ 採水の様子



▽ 水温測定の様子